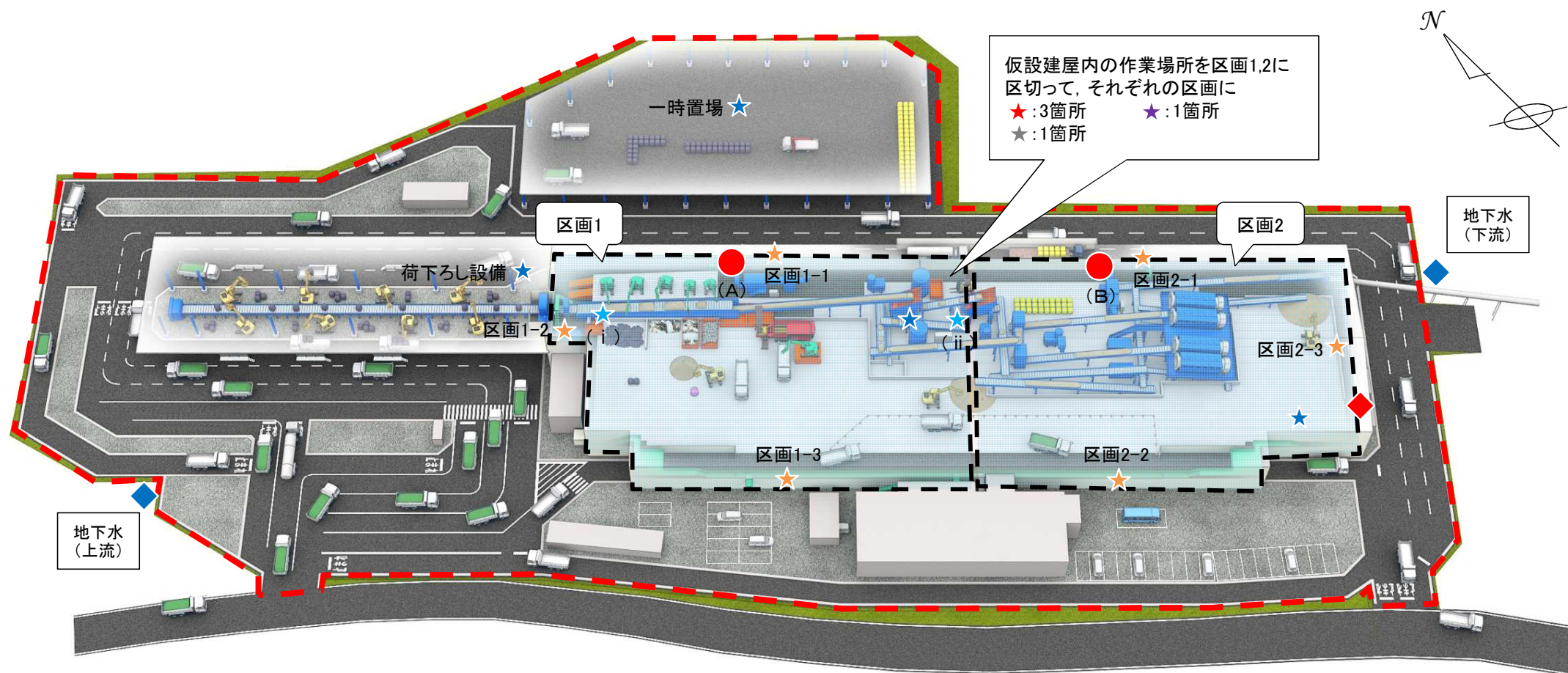


受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



★:施設の位置

【凡例】

◆: 地下水中の放射能濃度等

★: 粉じん濃度

★: 表面汚染密度(床)

---: 敷地境界線

●: 排気中の放射能濃度

★: 空間線量率(作業環境)

★: 表面汚染密度(壁)

◆: 排水中の放射能濃度

☆: 空気中の放射能濃度

★: 表面汚染密度(設備)



受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2020/3/5	(稼働後)	11	16	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2020/3/5	(稼働後)	9.3	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.3
区画1-2	1.8
区画1-3	4.2
区画2-1	3.1
区画2-2	2.9
区画2-3	1.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/3/12 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/3/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.12
区画2	0.13
荷下ろし設備	0.26
一時置場	0.15

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2020/2/6	(稼働後)	11	17	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2020/2/6	(稼働後)	9.0	10	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.8
区画1-2	0.8
区画1-3	1.6
区画2-1	2.8
区画2-2	3.2
区画2-3	3.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/2/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/2/7 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/17 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.12
区画2	0.18
荷下ろし設備	0.28
一時置場	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/17 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2020/2/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2020/1/9 (稼働後)	12	12	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2020/1/9 (稼働後)	7.1	6.2	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	0.7
区画1-2	1.0
区画1-3	0.8
区画2-1	1.1
区画2-2	1.4
区画2-3	1.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/1/15 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/1/10 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.11
区画2	0.16
荷下ろし設備	0.31
一時置場	0.18

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/15 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2020/1/7 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/12/5 (稼働後)	12	17	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/12/5 (稼働後)	6.8	9.7	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.2
区画1-2	0.7
区画1-3	0.8
区画2-1	2.1
区画2-2	2.3
区画2-3	2.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/12/11 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/12/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.11
区画2	0.16
荷下ろし設備	0.33
一時置場	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/11 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日 \ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/11/7 (稼働後)	10	16	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/11/7 (稼働後)	6.7	8.7	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.8
区画1-2	1.3
区画1-3	2.3
区画2-1	2.9
区画2-2	3.0
区画2-3	3.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/11/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/11/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.13
区画2	0.19
荷下ろし設備	0.34
一時置場	0.34

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/14 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日 \ 測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/11/18 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/10/3 (稼働後)	9.9	8.6	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/10/3 (稼働後)	6.3	6.1	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/10/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.1 Bq/m³、ドレン部： 0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.2
区画1-2	1.0
区画1-3	4.4
区画2-1	1.0
区画2-2	1.0
区画2-3	0.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.14
区画2	0.19
荷下ろし設備	0.36
一時置場	0.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/9 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/10/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND
	2019/9/5	(稼働後)	11	9.5	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/9/5	(稼働後)	6.6	7.1	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/9/4 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	0.9
区画1-2	0.4
区画1-3	1.4
区画2-1	1.8
区画2-2	1.6
区画2-3	1.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.12
区画2	0.22
荷下ろし設備	0.26
一時置場	0.58

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/11 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/9/11 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40 Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/8/1 (稼働後)	11	8.1	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/8/1 (稼働後)	6.4	5.9	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/8/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.1 Bq/m³、ドレン部： 0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.0
区画1-2	0.9
区画1-3	1.2
区画2-1	2.4
区画2-2	2.6
区画2-3	2.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.14
区画2	0.21
荷下ろし設備	0.24
一時置場	0.40

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/8/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(大熊②工区、第2期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/7/4 (稼働後)	14	12	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/7/4 (稼働後)	7.2	8.4	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/7/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.5 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.8
区画1-2	1.3
区画1-3	9.5
区画2-1	1.9
区画2-2	2.5
区画2-3	2.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.14
区画2	0.19
荷下ろし設備	0.25
一時置場	0.37

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/12 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/7/12 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日 / 測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/6/6 (稼働後)	15	13	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/6/6 (稼働後)	8.8	11	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/6/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m³、ドレン部：1.0 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

測定日 / 測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/6/21 (稼働後)	1.1

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	2.4
区画1-2	1.5
区画1-3	4.8
区画2-1	1.6
区画2-2	1.4
区画2-3	1.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/20 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.11
区画2	0.18
荷下ろし設備	0.25
一時置場	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/20 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/6/20 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/5/9 (稼働後)	15	12	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/5/9 (稼働後)	13	21	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/5/10 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 1.0 Bq/m³、ドレン部： 1.0 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	3.0
区画1-2	3.3
区画1-3	4.1
区画2-1	3.3
区画2-2	5.8
区画2-3	3.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/23 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.17
区画2	0.18
荷下ろし設備	0.25
一時置場	0.33

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/23 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/5/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2018/6/13 (稼働前)	11	9.0	ND
	2019/4/4 (稼働後)	16	14	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)	7.9	6.2	ND
	2019/4/4 (稼働後)	15	29	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/4/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m³、ドレン部：1.0 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2019/4/15 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
区画1-1	1.0
区画1-2	1.5
区画1-3	1.5
区画2-1	1.7
区画2-2	1.2
区画2-3	1.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/23 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
区画1	0.11
区画2	0.34
荷下ろし設備	0.23
一時置場	0.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/23 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/4/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²